

外国がうらやむ日本国憲法

主婦

(兵庫県 66)

外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティアを約8年している。これまで日本国憲法の9

条など主要な部分の英訳を興味がある生徒さんに渡していた。日本にはこのような平和憲法があり、専守防衛の自衛隊はあるが半世紀以上海外で一度も武力行使をしたことがなく、隊員は1人も殺されていないと説明すると彼らは一様に驚き、うらやましいと言った。

徴兵制があるギリシヤの青年は、帰国したら1年間の軍隊生活を送らねばならないと憂鬱そうに言い、韓国人の女性は近々入隊予

定の息子さんのことをとても案じ

ていた。私は3人の息子を持つ親として同情したが、平和憲法を持つ日本に生まれたことをありがたく思わずにはいられなかった。

安全保障関連法が成立し、自衛隊の海外での武力行使が可能になった。憲法の文面と実態の乖離に、憲法を生徒さんに見せられなくなったと感じている。くちくち情けない気持ちでいっぱいだが、各地で抗議行動が継続されていることに励まされている。この夏、デモなどに8回参加したが、これからは微力であっても声を上げ続けていきたい。そうでないと、帰国した彼らに顔向けできない。

安保法 正解を教えてください

無職

(宮崎県 70)

安全保障関連法が成立した。安保法制が戦争の抑止力となるのか、それとも戦争をもたらしものなのか。私には正解が見えない。

成立した安保関連法について安倍首相は9月25日の記者会見で「時を経る中で法制の意味について国民的な理解が広がっていくと確信している」と主張した。しかし、それは理解を広げるための積極的な試みがあったことだ。

まず、安倍首相は私のような迷える国民に、新たな安保法制が抑止力となることを明確に納得できるよう

説明してほしい。次に脅威

の対象とされる中国、北朝鮮などには、どのような外交努力をもって平和的な関係を築いていくか示してほしい。「安保」と「外交」の両面の安心がなければ国民は安心できない。

野党は安保関連法の廃止をめざすのであれば、「憲法違反」「戦争法」の主張だけで安倍政権に対抗するのではなく、日本が戦争に巻き込まれないための具体的な安保政策を国民に示すべきだ。戦争をしない国になるためにはどの安保政策が正解なのか。各党に示してもらい、その答えを持って次の国政選挙に臨みたい。